

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・歴史総合	普通科 1年	2	明解歴史総合(帝国書院)	・最新世界史図説 タペストリー二十訂版(帝国書院) ・明解歴史総合ノート(帝国書院)
科目の概要と目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>			
単元	学習内容	到達度目標		
1章 歴史と私たち	1部 歴史の扉	私たちの身近にあるものには、どのような歴史や世界との結び付きがあるか考察し、理解を深める。		
2章 歴史の特質と資料 1節 資料を取り扱ってみよう 2節 歴史叙述とは何か考えてみよう		私たちは過去の状況をどのようにして知り、伝えてきたのか考察し、理解を深める。		
序章 近代化への問い	2部 近代化と私たち	「近代化」について考察し、主体的に追求するための「問い」を作る。		
1章 江戸時代の日本と結び付く世界		18世紀の日本やアジア、ヨーロッパは、それぞれどのように結び付いていたのか考察し、理解を深める。		
2章 欧米諸国における近代化		欧米で起こった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したのか考察し、理解を深める。		
3章 近代化の進展と国民国家形成		近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったのか考察し、理解を深める。		
4章 アジア諸国の動揺と日本の開国		近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのか考察し、理解を深める。		
5章 近代化が進む日本と東アジア		日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変化していったのか考察し、理解を深める。		
「近代化」を振り返り現代的な諸課題と結び付けて考えよう！		現代の諸課題を通し、近代化とは何だったのかを考察し、「問い」に対して、主体的に追究・解決をはかる。		
序章 国際秩序の変化や大衆化への問い	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち	「国際秩序の変化や大衆化」について考察し、主体的に追求するための「問い」を作る。		
1章 第一次世界大戦と日本の対応		第一次世界大戦は、日本を含む世界の人々にとってどのような戦争だったか考察し、理解を深める。		
2章 国際協調と大衆社会の広がり		欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったか考察し、理解を深める。		
3章 日本の行方と第二次世界大戦		大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのか考察し、理解を深める。		
4章 再出発する世界と日本		第二次世界大戦を経て、国際秩序はどのように変化したか考察し、理解を深める。		
「国際秩序の変化や大衆化」を振り返り現代的な諸課題と結び付けて考えよう！		現代の諸課題を通し、私にとって大衆化とは何だったのか考察し、「問い」に対して、主体的に追究・解決をはかる。		
序章 グローバル化への問い	4部 グローバル化と私たち	「グローバル化」について考察し、主体的に追求するための「問い」を作る。		
1章 冷戦で揺れる世界と日本		冷戦が展開されるなかで、日本や世界の国々はどのような選択をしたか考察し、理解を深める。		
2章 多極化する世界		冷戦が展開されるなかで、日本や世界の国々はどのような経済成長を遂げたか考察し、理解を深める。		
3章 グローバル化のなかの世界と日本		冷戦が終わり、グローバル化は、世界をどのように変えたか考察し、理解を深める。		
これまでの学習を振り返り現代的な諸課題の形成と展望を考えよう！		現代の諸課題をグローバル化という視点から考察し、「問い」に対して、主体的に追究・解決をはかる。		